

# 保育園としてこれから取り組むこと

「大きく変わるから大変」、「大きく変えるから大変」

ちょっと言葉を変えただけで意味は大きく変わるはずですよ。

「自分の意志で自分の人生を切り開いている」

そんな実感を持って生きている人をこれからの日本に増やしていきたい。

全ての出来事は自分自身の決断と日々の積み重ねです。

保育者として仕事をするということは、親の愛情と向き合う仕事をするということ。

子どもと関わる時、自身の体験を振り返っていることに気づきます。

その体験の情景を重ねながら涙する場面も保育の世界では多いはずですよ。

この仕事は、親の愛ともう一度出会わせてくれる仕事です。

自分が出来る親孝行は、自分の人生を精一杯生きること。

何度でも体験したいと思えないくらい辛く過酷なことを乗り越えた先にあるものを、

心を許せる仲間と共に「一度きりの人生の物語」を作っていきましょう。

社会福祉法人ゆうゆう 理事長 矢巻行祥

---

## プロフィール

矢巻行祥(やまきゆきよし)

1982年生まれ。日本福祉大学卒。甲府市保育所連合会会長。大学卒業後、デイサービス会社に入社。デイサービスの相談員として、様々な老後の人生と接する。

その後、保育園を運営する母親が急死、保育園を引き継ぎ理事長・園長に就任。現在、甲府市と笛吹市に各60名定員の保育園を運営、2014年4月より、北区に「王子本町保育園」を開園。

sumiyoshi-yuuyuu0213@kofu.hoikuen.mia.ne.jp